

子どもたちに燕の野菜を 自慢に思ってもらいたい

3月10日に本町そ菜出荷組合から「もとまきゅうり」の寄付があり、休校明けの5月19日、市内小中学校の給食にて提供されました。その経緯を副組合長の瀬戸さんに伺いました。

「見学に来てくれる子どもたちと話すのは楽しいですね。だから今回、給食で使用されてうれしかったです」
毎年、組合では吉田小学校3年生の社会科見学を受け入れています。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響で、今年は見学が中止になってしまいました。
「学校も休校になってしまったし、きゅうりを食べて元気になってもらおうと組合で寄付を申し出たら、給食で使ってもらうことになりました。もとまきゅうりという名前も献立名に入れてもらってありがたかったです」
吉田本町で生産されているきゅうりを「もとまきゅうり」として再ブランド化する新たな取り組みを始めて約7年。今回寄付された春きゅうりは、



瀬戸 隆正さん (吉田本町)

●本町そ菜出荷組合 副組合長



▲5月19日に提供された「もとまきゅうりのさっぱり和え」。毎月19日は「いいきゅうりの日」なのだそう。

皮が薄いため特有の青臭さが少なくジューシーで、香りの良さや甘さが引き立ちます。
「ブランド化していなければ、メディアに取り上げられたり、給食に使ってもらうこともなかったと思います。有名になることで、地元にも少しでも貢献できたらいいですね」
そう笑顔で話す瀬戸さんは、今後もしっかりと子どもたちが地元野菜に触れる機会を増やしてほしいと言います。
「吉田小学校以外の子どもたちからも見学に来てもらいたいですし、吉田小学校の子どもたちには、燕地区や分水地区の野菜を見に行ってもらいたい。地元野菜にたくさん触れて、こないないものが燕にはあるんだと自慢に思ってもらえたらうれしいです」

紙上ブログ

燕市長 鈴木力



新型コロナウイルス感染症の影響で、急速に世の中が変化している感があります。

その典型例がオンライン会議。知事との意見交換会や県市長会の勉強会が、インターネットを介して市役所に居ながら参加する形で行われました。

また、職員採用試験でも、1次の筆記と2次面接をオンライン試験としました。今後、ビジネス界ではテレワークやリモート営業がさらに進展していくでしょうし、教育現場でもオンライン授業が検討されています。燕市では6月議会ですれらへ対応する予算措置を図りました。時流に遅れずに行動していきます。

▲こちらは有料広告です。

高速光インターネット・ケーブルテレビ・電話

NCT 光



小ほら みんなで
エヌ・シー・ティ ひかり~

NCT エヌ・シー・ティ 0120-080-009

高速光インターネット

すべて
コミ!

定額で使い放題

光回線料

プロバイダ料

Wi-Fiレンタル料

テレワーク・オンライン学習など
インターネット環境にお困りの方も
ご相談ください。



〒940-0032 長岡市千場1丁目7-9

www.nct9.co.jp

営業時間 / 【電話】9:00~18:00 (ドコモ光タイプCに関しては19:00まで) 【窓口】9:30~17:30 (月~土)

※この広報紙は、環境にやさしいベジタブル・オイル・インクを使用しています。